

今週（1月6日から1月10日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが強く、レートは高値圏で推移した。加重平均レートは、6日(月)、7日(火)は0.227%での推移となったが、8日(水)は0.231%、9日(木)は0.232%と、いずれも試し取り(ストレート)要因により上昇した。10日(金)は週末となったことにより、試し取りも無く、通常の水準観での取引が中心となった。ターム物に関しては、1W～2W程度で0.226～0.35%、1M～3M程度で0.31～0.61%の出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、週初530兆円程度で始まり、8日(水)に税揚げと10年債発行の影響を受け、525兆程度に減少した。その後は、9日(木)に国債買入要因によりやや回復したが、10日(金)に2年物の共通担保資金供給オペの期落ちや財政資金の揚げにより523兆円台半ばまで減少しての着地見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、0.245～0.255%程度で推移する展開となった。総じてオファーサイドが優勢な状況が続いた。SC取引の個別銘柄では、2Y455～468回、5Y165～174回、10Y355～376回、20Y180～190回、30Y65～84回、40Y10～17回などで引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、入札を通じて3Mゾーンが水準調整された。7日(火)に実施された3M物入札は、テールが流れる結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも小甘く推移した。9日(木)に実施された6M物入札についても、テールが流れる結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、底堅く推移した。10日(金)に実施された3M物入札は、事前予想対比で無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、小じっかりとした推移となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、電気・ガス、鉄鋼、石油、化学など複数の業態が大型発行を実施した。市場残高は、12月末に24兆円台まで低下したが、8日(水)以降は26兆円台を回復し、引き続き高水準で推移している。発行レートについては、引き続き0.25%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
12/30（月）	39,894.54	1.090	157.83	0.227	0.245	5,315,200
1/6（月）	39,307.05	1.125	157.70	0.227	0.245	5,296,500
1/7（火）	40,083.30	1.140	158.20	0.227	0.250	5,295,000
1/8（水）	39,981.06	1.175	158.05	0.231	0.246	5,248,900
1/9（木）	39,605.09	1.170	158.33	0.232	0.246	5,263,400
1/10（金）	39,190.40	1.195	158.40	0.227	0.248	5,240,400

来週（1月13日から1月17日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/13 (月)	成人の日				12月の米財政収支
1/14 (火)	11月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 12月の景気ウォッチャー調査(内閣府)	5Y 23,000億円 1/15発行			12月の米生産者物価指数
1/15 (水)	12月のマネーストック(日銀 8:50) 11月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	交付税借入 13,000億円 1/24借入			12月の米消費者物価指数 米ページブック 12月の英消費者物価指数
1/16 (木)	12月の企業物価指数(日銀 8:50)	TB1Y 32,000億円 1/20発行	20Y 10,000億円 1/17発行		12月の米小売売上高 11月の米企業在庫
1/17 (金)	11月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB3M 45,000億円 1/20発行			12月の米住宅着工件数 12月の米鉱工業生産・設備稼働率 12月のユーロ圏消費者物価指数改定値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
1/13 (月)									
1/14 (火) 日銀予想	2,600	▲ 9,800	▲ 7,200	全店共通 CP買入 国債補完	▲ 20,000 ▲ 100 5,600		▲ 14,500	▲ 21,700	TB3M発行▲45,000 償還46,000
1/15 (水) 弊社予想	2,000	▲ 35,000	▲ 33,000				0	▲ 33,000	源泉税揚げ(大幅) 5Y発行▲23,000 個人向け発行▲4,000(見込み)償還1,100
1/16 (木) 弊社予想	2,000	0	2,000	全店共通	▲ 20,000		▲ 20,000	▲ 18,000	交付税借入▲13,000 期日13,000
1/17 (金) 弊社予想	1,500	▲ 11,000	▲ 9,500				0	▲ 9,500	20Y発行▲10,000
週 間 合 計	8,100	▲ 55,800	▲ 47,700	—	▲ 34,500	0	▲ 34,500	▲ 82,200	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き0.227%近辺での資金調達ニーズが厚く見られる可能性が高いため、レートは高値圏での推移が予想される。債券レボGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.20～0.26%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、16日(木)に1Y物、17日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、五・十日発行を控えており、発行案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では14日(火)に11月の国際収支、16日(木)に12月の企業物価指数、海外では、1月13日(月)に12月の米財政収支、15日(水)に12月の米消費者物価指数、12月の英消費者物価指数、16日(木)に12月の米小売売上高、17日(金)に12月の米住宅着工件数、12月のユーロ圏消費者物価指数改定値などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。